



東京都渋谷区代々木2丁目23番1号  
ニューステイメナー865号室 (〒151-0053)  
Tel 03-6240-2300 Fax 03-6240-2301  
E-mail : info@asset-adv.co.jp  
ホームページ : http://www.asset-adv.co.jp/



# AA通信

2009年(平成21年)11月1日 第17号

アセットアドバイザー 検索

## 通信トピックス

～ 『収益ビル』を買うために ～

紹介した収益ビルを購入して戴くことができました。都心で一等地の素晴らしい収益ビルです。今回、購入されたお客様と接しながら、購入できない方との違いを感じました。資金力も問題なく、収益ビルを希望される方は大勢いますが、実際に購入できる方は意外と少ないのです。

何が違うのでしょうか、そのポイントは、不動産情報を、刺身と同じように”鮮度”で捉えられる事。そして、書類に頼らず現地現物をよく見る事。だと考えています。当然、予算面など他にも要因はありますが、この2つは特に重要です。街を歩けば建物は沢山目に入ります。しかし、

不動産は”製品”とは異なり、たとえ素晴らしい収益ビルでも、それが売り物でなければ買うことは出来ません。また、不動産取引は瞬時に成立してしまいます。売り物であっても、時を逸すれば買う事ができません。”鮮度”に対処するには、書類に頼らず現地現物を見ることです。見れば必ず何か感じます。感じた結果をもとに、自分の好み、土地勘、建物の良し悪し、すなわち”判断基準”を身に着けることが大切なのです。自分に”判断基準”があれば、縁あって素晴らしい建物に出会った時に、”この建物なら大丈夫だ！”と瞬時に感じる事ができるのです。購入されたお客様は、まさにこれを実践されていました。



## 通信トピックス

～ 『働く』ということを考える ～ 映画『沈まぬ太陽』を観て来ました。

映画『沈まぬ太陽』を観て来ました。「白い巨塔」「華麗なる一族」「不毛地帯」「大地の子」等で知られる、山崎豊子氏の同名原作をもとにした映画です。パンフレットに、「これはフィクション(=作り話)です。」と繰り返し記載されるこの作品は、日本航空をモデルにし、「個人の尊厳や生命までも疎かにした組織悪にメスを入れ、この国のはらわたを凝視する問題作だ。」と評論する方もいるように、原作の掲載当時から大反響を呼んだ作品です。

労働組合の委員長として会社と闘ったために、パキスタン(カラチ)、イラン(テヘラン)、ケニア(ナイロビ)へと、10年近く不遇のへき地勤務を命ぜられた主人公の「恩地元」を、渡辺謙が演じています。帰国後も、誰もが記憶に新しい、国内最悪の航空機事故である御巣鷹山での、「ご遺族のお世話係」として働きます。同じ労働組合の幹部でありながら、常務取締役へと昇る友人の行天四郎と対比させる事で、恩地の不遇が引き立ち、「何故、それでも恩地は会社を辞めずに働き続けるのか？」と、観ている者に考えさせます。

詫び状を書けば日本に帰してやる。と言われた恩地は、「男の矜持(きょうじ=誇り)のため」とそれを拒み、その犠牲者ともいえる恩地の妻は、「貴方が誇りを失わなければ・・・」と耐えます。また、大事故の後、「御国のため」と指名され、航空会社の「再建のため」に会長職に就いた国見正之は、「犠牲者とその遺族のため」に尽力すると誓い、恩地に協力を求め、会社再建に力を注ぎます。「何のために働くのか」を考える時、お客様のため、家族のため、生活のため、会社のため、そして自分のため・・・言葉が浮かびます。映画の登場人物達に対しては「そういう時代だったから・・・」と片付ける方もいるとは思いますが、「働けるのに働かない人」や「働きたいのに働けない人」が世に溢れ、人々が「働くこと」に葛藤する現代だからこそ、考えるべきではないかと思いました。原作者は、「物語の時代背景は1980年前後ですが、すべてがそのまま現代に通じるテーマです。若い世代にも是非、観て戴き、戦後日本が現代に至った経緯を考えて戴ければと、切に祈ります。」と書いています。

今現在、モデルとなった航空会社は、残念ながら自力再建できる状態になく、その再建策が連日報道を賑わしている状態です。まさに、現代に通じている作品でした。

原作は、アフリカ篇、御巣鷹山篇、会長室篇の三部構成です。これを凝縮した映画は、途中10分の休憩を伴う、3時間20分の巨編です。しかし、一つ一つの場面に登場する人物から気持ちが伝わり、時間を感じることはありませんでした。恩地が息子と一緒に牛丼を食べる場面があります。幼い時代を共に暮らせなかったために、かつては、「悪いことをしたから左遷させられた」と父を非難した息子から、その働き方を認める言葉を貰います。恩地は感極まるのを抑えるかの様に牛丼を頬張ります。不遇な主人公の数少ない幸福な場面であり、私にはとても心に残っています。

是非、「沈まぬ太陽」をご覧になって下さい。素晴らしい映画です。

前号の長男手術の記載に関し、多くの方から激励のお言葉を頂戴しました。本当にありがとうございました。今回は、本当治療ではありませんでしたが、効果があり、術後も順調です。家族で安堵しています。

前号に献血協力依頼を記載致しました。当日献血をして戴いた方々には大変感謝致しております。ありがとうございました。